

# 千葉県教育の目指す姿

## 千葉県教育をめぐる現状と課題

### ■ AIの進展や Society5.0 への対応

IoTやビッグデータ、AI等をはじめとする技術革新が一層進展する中、人間ならではの感性や創造性、言語能力、情報モラル等を育成することが求められます。

### ■ 誰一人取り残さない教育の実現

障害や不登校、日本語能力や家庭の経済的状況など、様々な生活上の困難にかかわらず、子供たちの教育の機会が多様で適切に確保できるよう、社会の総力を挙げて取り組むことが求められます。

### ■ コミュニティ・スクール導入など 地域コミュニティの充実

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)や地域学校協働活動など、学校を核として地域全体で子供たちを育てていく体制づくりが重要です。

### ■ 子供をめぐる重大事案の発生

子供の命が失われる悲惨な事件が二度と起こらないよう、子供の心身に様々な意味で将来にわたって影を落とすような問題については、千葉県教育の最大の課題として取り組むことが求められます。

### ■ 自己肯定感、自尊感情の向上

本県で生まれ育った子供たちが、自信を持ち、「楽しい」「喜び」に満ちた社会の担い手として成長することができるよう、子供たちの自己肯定感を高める取組を進める必要があります。

### ■ 人口減少・少子高齢化の進行や 地域間格差への対応

南房総ゾーンをはじめ、人口減少が進む県内各地域において、人口減少が教育の地盤沈下を引き起こさないよう、必要な措置を講じることが求められます。

### ■ 教員の多忙化と働き方改革

教職員が心身ともに健康を保ち、子供たちに真に必要な、効果的な教育活動を持続的に行うことができるよう、働き方改革を進める必要があります。

## 基本理念

ちばの教育の力で「県民としての誇り」を高める!  
「人間の強み」を伸ばす!  
「世界とつながる人材」を育てる!

子供たちが、自己有用感に裏付けられた自己肯定感を高め、「**県民としての誇り**」を持って、未来への第一歩を踏み出すためには、県民の学校教育への参画のもと、学校では教師が、家庭では親が、地域においては地域住民が、それぞれの立場から子供たちに関わっていくことが重要です。

また、今後、IoT、ビッグデータ、AIなどの第四次産業革命の時代を迎える中、デジタルの時代であるからこそ、クリエイティビティ(創造性)、ホスピタリティ(おもてなし)、モラルティ(道徳性、倫理性)などの「**人間の強み**」を育むことが重要です。

さらに、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、子供たちが将来、郷土や世界で活躍することができるよう、グローバル時代に必要な資質・能力を高め、「**世界とつながる人材**」を育てることが重要です。

そのための教育を、千葉県の持つ教育のポテンシャルを活用した千葉ならではの教育、すなわち「**ちばの教育の力**」により実現することを目指します。

## 4つの基本目標

### 基本目標 1 子供

ちばの教育の力で、  
志を持ち、  
未来を切り拓く、  
ちばの子供を育てる



### 基本目標 2 学校

ちばの教育の力で、  
「自信」と「安心」を育む  
学校をつくる



### 基本目標 3 家庭・地域

ちばの教育の力で、  
家庭と地域の絆を深め、  
全ての人が活躍できる  
環境を整える



### 基本目標 4 県民

ちばの教育の力で、  
世界を舞台に活躍する  
人材を育成し、  
「楽しい」「喜び」に  
満ちた豊かな社会を創る



第2期計画では「子供」「学校・家庭・地域」「県民」の3つの目標を定めていましたが、第3期計画では「家庭の教育力の向上」や「地域の教育資源の活用」、「新学習指導要領への対応」や「学校における働き方改革」などの課題に対応するため、「学校」と「家庭・地域」を分け、「**子供**」、「**学校**」、「**家庭・地域**」、「**県民**」の4つの基本目標を定めました。